

## 日野を学び、日野で学び、日野から学ぶ

日野町	活動名：日野・鎌掛地域学校協働本部	日野小学校	学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務1人) ボランティア登録数：50人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 □学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

### ■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

#### ・「あいさつ運動」の活性化

町青少年育成会議でも重点取組である。地域とのつながりが薄れてきている今、あいさつも少なくなっている。地域とのつながりを持てる行事をもっと増やしていけるよう、町内他地域の例も参考にしながら、地域のいろいろな団体と協働して取り組みたい。

#### ・学校運営協議会の在り方

将来的には学校主導の会議からの転換が目標。地域がめざす「日野小学校の子ども像」を具体的な文言でまとめ、地域に発信していきたい。また、「動ける組織」として活動につなげていきたい。

### ■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

・歴史ウォーク(6年)……校区内の歴史的施設等をウォークラリーで見学した。ふるさと館の館長からのガイダンスを受け、見学地では観光ボランティアの方に案内していただき、新たな発見を得ると共にふるさと日野への誇りを高める学習となった。

・日野菜学習(3年)……日野菜の植え付け、収穫について、JAの職員さんや地域の方からご指導いただいた。また「日野菜のすごさを広めたい」という思いから、新たな料理レシピを考案し、地域に向けて発信した。

・図書ボランティア……毎週火・金曜日に、子どもたちが読書活動に関心を高めるための環境整備作業を中心に活動をしている。学校図書司書、学校図書担当と連携し、時期に合わせた活動を行っている。

・家庭科ボランティア……日赤奉仕団(日野分団・鎌掛分団)から、各クラスに2～3名来校。手縫いやミシン縫いなど、高学年の裁縫活動について学習支援していただいている。

・なかよしコンサート(年4回開催)……地域で音楽活動をされている個人やグループを招き、昼休みにコンサートを開催。(フラダンス、ピアノ連弾、ギターデュオ、合唱)



【観光ボランティアの方から学ぶ】



【ミシン縫いを教わる】

### ■ 実施に当たっての工夫

・教員は、事前にはふるさと絆支援員(地域学校協働活動推進員)と学習活動の全体計画を作成する中で、関係機関の思いを大切にしつつ、育てたい子どもの姿やつけたい力を明確にし、学習の質が高まるようにした。

・慣例的に取り組んできた学習について、関係機関の方を招いた研修会においてその目的と意義を再確認すると共に、より幅広く学べるよう学習の充実を図った。

### ■ 事業の成果

・学習活動の成果を発信することで、地域の方々へ学校教育活動への理解を深めることができた。継続的に学習活動に携わってくださる方も増えており、教育活動のねらいを踏まえて子どもたちに関わってくださるようになった。

・地域で活躍する方々と学校がつながる活動を計画、実践することで、子どもたちが地域の方々やその活動をより身近に感じ、関わりを深めようとする姿が見られた。

・なかよしコンサートには、地域の高校音楽部に参加してもらうことで、地域の高校を知り、憧れを持つよい機会となった。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

長年の取組による成果を生かすだけでなく、活動が形骸化しないよう、「学校運営協議会」の方々の意見も参考に、地域と学校とともに「育てたい子ども像」をしっかりと定めた上で事業を展開していきたい。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(各学年担当教職員)

報告書記入者(教頭)

# 学校・家庭・地域の ～ きずな・つなぐ・むすぶ ～

日野町	活動名:西大路地域学校協働本部	西大路小学校 学校運営協議会 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成29年度 地域学校協働活動推進員等数:1人 ボランティア登録数:30人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 <input type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 ■学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 ■郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]		

## ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ☐学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他( )

## ■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・幼小と公民館の連携による様々な取組
- ・3年総合的な学習「名人さんに学ぼう」の取組
- ・環境整備作業、運動会準備等の取組

## ■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

### (1)PTAふれあい学習会

PTA主催で「災害図上訓練」を体験する活動を行った。地域の防災士に指導を仰ぎながら、各地区の区長の皆様に参加していただき、児童・保護者とともに活動をした。

### (2)総合的な学習の時間 3年:名人さんに学ぼう

5年:田植え・稲刈りでお世話になった方々を招待しよう

3年生の児童が、総合的な学習の時間に地域の名人に弟子入りし、学ぶ学習を行った。(日野祭り囃子、日野祭の際につくる郷土料理、丁稚ようかんづくり)

また、5年生の児童が、収穫したお米を使って調理実習を行い、田植えや稲刈りの活動でお世話になった方々を招待する学習を行った。

これらの活動により、地域の良さを学び、愛郷心を育むことができた。

### (3)環境整備作業(全校)

毎年、2学期開始直前に行っている環境整備作業だが、今年度は天候が悪く、中止となった。



【 PTAふれあい学習会 】

## ■ 実施に当たっての工夫

- ・学校側が、子どもに育みたいと思っている主体的な力の内容をお伝えし、地域の方々の思いをお聞きして、すり合わせをするための打合せの機会を綿密に取り、計画・実施した。
- ・地域学校協働活動推進員と綿密な計画を立て、来ていただきたい地域人材を探していただき、その方との関係継続、また、その方の関係される方へのアプローチを大切に、つながりづくりを広げている。

## ■ 事業の成果

昨年度末に、総合的な学習の時間の年間計画を見直し、地域の方々がかわってくださる活動についても、単発で実施されないように進めていくことができた。



【 名人さんに学ぼう 】

## ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

さらに、全学年に広がる活動にできればと考える。

## ■ その他(学校運営協議会との協働等)

学校運営協議会は、今年度5回の会議を予定しており、様々な意見の交換・熟議をし、現状の相互理解と課題解決に努めていく。

## ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ☐地域連携担当教職員 ■その他(各学年担任)

報告書記入者(教頭)



# 「南比がすき」～地域と家庭、学校が共に子どもたちを育てるために～

日野町	活動名:南比都佐地域学校協働本部	南比都佐小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度:平成29年度 地域学校協働活動推進員等数:1人(兼務1人) ボランティア登録数:約40人 ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) ■学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り □部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) ■地域行事への参加 ■ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

## ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

## ■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・年間5回の会議を開催。後述する「南比コミュニティ・フェスティバル」の実施に当たって、ねらいや内容、講師の選定、地域への広報の方法等について討議した。
- ・学校経営管理全体計画についての検討の中で子どもの数が減っていくなか、学校の魅力を広くアピールしていくことや周辺道路の走行車両の増加に関わる登下校時の安全確保の課題について話し合った。

## ■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

### ・南比コミュニティ・フェスティバル「名人さんに弟子入り」

今年度も地域と学校とのつながりを深めることを目的に開催した。

まず、子どもたちが生活科や総合的な学習の時間で学んだことを発表した。今年度は地域に焦点を当てた発表が多く、また地域の人や保護者に意見を聞く形にした学年もあり、交流の持てる授業参観となった。後半の地域の方に教わる「名人さんに弟子入り」は、「竹細工」「布小物づくり」「茶道」「フェルト工作」「木工教室」「クレヨンアート」「筆の体験」「米粉ドーナツづくり」「江州音頭」の9つのコースを設定した。

体験のなかで地域の先生たちとの会話を楽しんでほしいと1つのコーナーを60分間じっくり体験する形にしたので、どのコーナーも地域の「名人さん」と交流を深めた。



【 竹灯籠づくりの体験 】

### ・地域の「先生」から学ぶ

本校の学区には、日野菜の原種を守り育ててきた「深山口日野菜原種組合」があり、年間をとおして子どもたちの指導に協力いただいている。日野菜を植え、育て、収穫し、調理するまで全校の子どもたちが関わる、本校地域学習の大きな柱である。

地域の歴史を学んだり、図工で釘の打ち方を教えていただいたり、手縫いやミシン縫いを教えていただいたり、日野菜漬けと一緒に漬けたりと、様々な分野で地域の方が「先生」として学校に来てくださった。地域学校協働活動推進員が文字どおり、地域と学校とをつなぐ役割を果たしているが、さらに教職員と地域のつながりも強めていきたい。

## ■ 実施に当たっての工夫

- ・地域の人に教えていただきたい内容の具体を聞き取り、公民館や地域学校協働活動推進員を介してふさわしい人材を見つけいただくことで子どもたちの学びが深まるようにした。
- ・南比コミュニティ・フェスティバルの実施に当たっては、地域の方への広報のため、区長会等に協力を依頼した。

## ■ 事業の成果

- ・地域の方とともに、町内外の方や学校に関わっていない世帯の方、保護者の方もボランティアとして学校に来てくださる機会を作ることができた。子どもたちはもちろんのこと、来られた方も「また来たい」と喜んでくださる方が多く、新たな活動へとつなげていきたい。
- ・子どもたちは地域の大人と顔見知りになることで安心・安全に登校できている。



【 ボランティアによる学習支援 】

## ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・「南比コミュニティ・フェスティバル」では様々な体験コーナーでじっくりと取り組むことで地域の方と子どもの交流を深めることができた。保護者からも「来年は子どもと一緒に弟子入りをしたい」という声を聴かれた。来年はさらに地域に子どもと保護者が学ぶ体験ができるよう検討していきたい。
- ・児童数の将来的な減少と周辺道路の走行車両の増加に伴い、登下校時の安全確保は喫緊の課題である。学校、保護者、地域が課題意識を共有し、今後も安全点検や見守り等の対策については協議していきたい。

## ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(各学級担任 )

報告書記入者( 教頭 )

## 地域ぐるみで子どもを見守り、学校を支援する協働活動のために

日野町	活動名： 必佐地域学校協働本部	必佐小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成 29 年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：60人 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input checked="" type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

☒学校・園 ☐学校運営協議会 ☒地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他( )

### ■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

学校運営協議会委員と教職員との熟議の中で、本校児童の強みと弱みについて共有することができた。児童の課題の中で、家庭学習が定着していないことが課題として挙げられた。家庭学習の定着については、コミュニティ・スクールとして、できることを今後検討していきたい。

### ■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

#### (1)見守りあいさつ運動

朝の登校時間帯に、必佐小見守り応援隊や PTA 有志の皆さんが交代で校門付近に立ち、見守りあいさつ運動に取り組んだ。

#### (2)体験的な学習への支援

焼き芋や田植え・稲刈りなどの指導を地域の方にお願いした。家庭科の裁縫やミシン縫いなど、個別の支援を必要とする学習での支援をお願いした。

#### (3)ふるさと学習支援

日野町の特産品である日野菜の栽培や日野菜漬けで経験豊かな地域の方に指導をしていただいた。



【 稲刈りを支援 】

### ■ 実施に当たっての工夫

本事業の広報とボランティア募集のためにチラシを全戸配付し、事業に対する理解と協力を得られるようにした。見守り活動の全体会議で、各団体の代表の方々に年間の見通しを説明し、協力を依頼した。

### ■ 事業の成果

・見守りあいさつ運動を数年続けてきたことで、地域の方々と子どもたちのつながりが増えてきた。あいさつを交わすことだけでなく、子どもたちの登校のリズムがこれまで以上に身についてきている。スムーズな学校生活のスタートに結びついてきている。「必佐小学校見守り応援隊」を組織し、数年経てきたことで見守りあいさつ運動のほか、学習ボランティアや支援者として参加してくださる方が増えた。

・ボランティアの方々の適切な支援のおかげで、子どもたちは技能を習得できただけでなく、「苦労しながらもできた」という達成感を味わうことができた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

・地域におられるボランティアの方が十分に把握できていない。今後も引き続き人材の開拓に努めていく必要がある。指導者の思いや指導方針をもとにしつつ地域学校協働活動推進員からの提案も織り交ぜながら打合せを綿密に行う必要がある。

### ■ その他(学校運営協議会との協働等)

学校運営の様子や子どもたちの学習の様子を下記記載の URL で紹介している。

<https://www.fureai-cloud.jp/hissa-es/>



【 焼き芋を支援 】

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

☒校長 ☒教頭 ☒地域連携担当教職員 ☐その他( )

報告書記入者( 教頭 )



## 「好きです！桜谷」と自信を持って言える子に育てる

日野町	活動名：桜谷地域学校協働本部	桜谷小学校	学校運営協議会： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成29年度 地域学校協働活動推進員等数：1人 ボランティア登録数：100人 <input type="checkbox"/> 学習支援(授業補助、学力補充等) <input type="checkbox"/> 図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) <input checked="" type="checkbox"/> 学校行事支援 <input checked="" type="checkbox"/> 子どもの安全確保、見守り <input type="checkbox"/> 部活動支援 <input checked="" type="checkbox"/> 学校周辺環境整備 <input checked="" type="checkbox"/> 学びによるまちづくり <input checked="" type="checkbox"/> 地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事への参加 <input type="checkbox"/> ボランティア・体験活動 <input checked="" type="checkbox"/> 郷土学習 <input type="checkbox"/> その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

☒学校・園 ☒学校運営協議会 ☒地域学校協働活動推進員等 ☐行政 ☐その他( )

### ■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・地域や歴史を知ることは本当に大切なことなので、地域学習や歴史学習を充実していかなければならない。そのために、地域や歴史に詳しい地域住民の人材バンクをつくってはどうか。校区には由緒ある神社や珍しい地層があるが、それら貴重な遺産を教材化して、詳しい人に授業をしてもらうのはどうか。
- ・地域の方も大事だが、各家庭の力がいけば大事。何でも大人がお膳立てするのではなく、子どもたちにもっと体験の機会をつくらなければならない。ものごとの「結果」だけでなく、「過程」を経験させることが大事であろう。
- ・地域学校協働活動が始まってからかなりの年数が経つが、学校を支援するメンバーが次第に高齢化している。若い人への世代交代が迫られている。例えば、保護者世代に学校ボランティアとして参画してもらえないか。若い人の特技や持ち味が生かせるようなボランティアリストをつくれればどうか。

### ■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

森のレストラン(収穫祭・お礼の会)を4年ぶりに開催した。新型コロナウイルス感染症が5類に移行した昨年度も実施を見送ったため、6年生以外は初めての経験である。今年度も地域住民の学校支援により、子どもたちは充実した学習をすることができた。田植えやサツマイモ植え、稲刈りやサツマイモ掘り、特産品の日野菜栽培などは農作業の得意な方の支援を得た。家庭科のミシン学習は、地域のソーイングクラブの支援を得た。昔遊びや餅つきは、地域の伝統に詳しい方の支援を得た。学習支援だけでなく環境整備も行われた。学校運営協議会の呼びかけで、例年実施のPTA奉仕作業や同窓会草むしりの他に、運動会前の環境整備作業を実施することができた。

このように、日頃からお世話になっている地域の方を招待し、もてなすのが森のレストラン(収穫祭・お礼の会)である。1・2年生はサツマイモ洗いと受付、3・4年生は招待状作り、5・6年生はみそ汁の調理と配膳、また会場準備をそれぞれが行い、全校で地域の方への感謝の気持ちを表した。あいにくの天気で本校自慢の裏山での会食はできなかったが、それでも楽しい交流の時間となった。



【 低学年は受付の担当 】

### ■ 実施に当たっての工夫

支援者に気持ちよく学校に来ていただけるよう、地域学校協働活動推進員を主な窓口綿密な打合せを行った。また、特定の学年の支援であっても「学校として支援を依頼している」ことを全教職員が意識し、支援者を迎えるようにした。



【 屋内であっても楽しい会食 】

### ■ 事業の成果

今年度は本校創立150周年の節目の年、子どもたちにとって特に印象に残る年であったが、「好きです！桜谷」と自信を持って言える人」のスローガンに近づくことができたのではないと思う。地域の方のさまざまな人格や行動にふれることにより、これまで以上に、郷土を愛する気持ちが育ってきたのではないかと考える。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・学校運営協議会での熟議でもあったように、持続可能な学校支援のためにも、新たな支援者の開拓は喫緊の課題である。
- ・本校では保護者や地域住民を対象に、無理のない範囲で学校支援ができないかアンケートを行った。「すごい特技はないけれども、子どもたちの九九や百人一首を聞くことならできる」など、若い世代の新たな支援者の輪が広がりにつつある。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

☒校長 ☒教頭 ☒地域連携担当教職員 ☒その他(教務主任)

報告書記入者( 教頭 )

## 豊かな教育活動～日野町の方々の温かい人情に触れながら協働する～

日野町	活動名：日野中学校地域学校協働本部	日野中学校	学校運営協議会：■有 □無
地域学校協働本部概要 ※実施した活動内容全てに■印 開始年度：平成30年度 地域学校協働活動推進員等数：1人(兼務1人) ボランティア登録数：55人(9団体) ■学習支援(授業補助、学力補充等) ■図書ボランティア(読書活動支援・図書室環境整備) □学校行事支援 ■子どもの安全確保、見守り ■部活動支援 ■学校周辺環境整備 □学びによるまちづくり ■地域人材育成(地域課題解決型学習、地域人材によるキャリア教育) □地域行事への参加 □ボランティア・体験活動 ■郷土学習 □その他[ ]			

### ■ 事業を考案する主体(該当するすべてに■印)

■学校・園 ■学校運営協議会 ■地域学校協働活動推進員等 □行政 □その他( )

### ■ 学校運営協議会で熟議された内容(地域学校協働活動に関わる内容等)

- ・多様化する生徒の実態に対して、地域としてどのようなことができるのかを熟議した。
- ・現在生徒会が取り組んでいる「あいさつ運動」を今後も大切にしていこうと、学校運営協議会のメンバーにも「あいさつ運動」に参加してもらうこととなった。
- ・地域学校協働活動について理解をしていただき、学校運営協議会の方々の豊かな経験の中で培われた人脈の中で、協力してもらえそうな人材について話し合っていた。



【 1年生 地域探究学習 】

### ■ 地域と学校が協働した活動(特徴的な活動)

- (1) 読み聞かせグループによる朝の読み聞かせ (1, 2年生)  
毎週火曜日、地域の4つの読み聞かせグループの方と司書の方に順に来ていただき各教室で読み聞かせをしていただいている。
- (2) 地域の各分野の専門家による地域探究学習 (1年生)  
文化、歴史、自然、環境、観光、日野商人の分野に分かれ、6人の専門家の方に講演をしていただき、生徒たちはふるさと日野について学習のまとめをし、発表しあった。
- (3) 地域人材による授業支援  
合唱コンクールの学級練習では地元合唱経験者の方にアドバイスを、音楽科では日野祭曳山囃子方交流会の方々に演奏を、体育科では少林寺拳法の指導者の方々に指導を、道徳科では地域のレスリング指導者の方にお話をいただき、学習を深めた。
- (4) 地域ボランティアによる学校花壇整備作業  
2年前から生徒会本部と地域のボランティアさんとで花壇に花文字の植栽を行っている。植栽前の草刈りもしていただき、助かっている。



【 2年生音楽科 日野祭囃子の鑑賞 】

### ■ 実施に当たっての工夫

- ・ふるさと学習では地域の方々の話を聴くことで終わるのではなく、それをきっかけに自分たちでまとめ学習をし、発表するような学習を展開した。
- ・生徒会の花壇の植栽については、生徒会のメンバーが主体で、花文字や色の配色を決定し、ボランティアはそれを支援する形で、共同で作業を行った。

### ■ 事業の成果

- ・合唱コンクール前には地域の合唱経験者の方に多くのクラスに入ってもらい、一生懸命に練習する生徒たちにアドバイスや指導をしてもらうことができた。少ない時間で効果的に練習することができ、合唱コンクールの成功につながった。
- ・音楽科で行った日野祭曳山囃子方交流会の方々の演奏の鑑賞会では、地元の芸能に触れ、その歴史や伝統をつないできた想いなどを聴き、自分たちもしっかりと守り継いでいきたいという思いを持った生徒も多くいた。また交流会の方々も中学生に伝えられて良かったと喜んでおられた。

### ■ 事業実施上の課題と今後の協働活動の工夫や展望

- ・何かをお願いする活動だけでなく、双方向の協働活動となるよう、模索していきたい。
- ・学校運営協議会の皆さんの協力を得ながら、新たな人材の発掘に努めていきたい。

### ■ その他(学校運営協議会との協働等)

「学校運営協議会」の場で地域学校協働活動による取組を報告し、理解を深めていただいた。運営協議会での話し合いにより、目指す子供像を共有し、地域の願いを知り、今後の活動につなげていきたい。

### ■ 協働活動推進員(コーディネーター)と協働する学校関係者(該当するすべてに■印)

■校長 ■教頭 ■地域連携担当教職員 ■その他(各担当教員)

報告書記入者(地域学校協働活動推進員)